

平成 17 年度 市民体育大会参加者募集 !!

市民のスポーツ祭典、市民体育大会を10月10日（月）〈体育の日〉を中心に開催します。各競技の要項をご確認の上、気軽にお申し込みください。スポーツの秋、爽やかな季節の下、一緒に汗を流しませんか。

◎卓球競技は平成18年3月19日（日）に開催予定です。

◎壮年野球の部は参加チームが決定しておりますので、募集は行いません。

◆開催要項は各地区公民館にあります。申込先は要項に記載しています。

競技種目	開催日	会場	申込締切
第47回倉吉マラソン大会	 10月10日（日）	倉吉市営陸上競技場	 9月21日（水）
第38回ソフトボール競技		倉吉西高グラウンド	
第36回バレーボール競技		男子 倉吉西中体育館 女子 河北小学校体育館	
第31回ソフトテニス競技		倉吉市営庭球場	
第28回バドミントン競技		倉吉東中体育館	
第27回ゲートボール競技		上灘中央公園グラウンド	
第24回クレ射撃競技		倉吉市営射撃場	
第22回銃剣道競技		倉吉市営武道館	
第19回テニス競技		倉吉市営庭球場	
第14回グラウンドゴルフ競技		倉吉市営陸上競技場	
第2回ラージボール卓球競技		スポーツセンター体育館	
第2回バウンスボール競技		市営体育センター	
第28回壮年野球競技		倉吉市営野球場	
第6回フットサル競技		11月6日（日） 11月13日（日）	
第8回ボウリング競技	10月16日（日）	倉吉プラザボウル	9月27日（火）
第4回ソフトバレーボール競技	11月27日（日）	県立倉吉体育文化会館	11月10日（木）
第6回水泳競技	11月23日（水） 勤労感謝の日	倉吉スイミングプール	11月5日（土）



※申込・問い合わせ先：市民スポーツ課（☎ 22-8167 / ☎ 22-5684）

サッカーで親善交流

〜友情から厚い信頼の絆へ〜

倉吉市の姉妹都市「韓国羅州市」からサッカー交流団20人が、7月22日から24日にかけて来倉し、鳥取県中部サッカー協会シニアチームとの親善試合をはじめ、メンバーの自宅で交流会をおこない、日本文化を体験しました。

この事業は、昨年、シニアチームが羅州市を訪問したとき、さらなる交流の推進が約束され実現したもので、再会を喜びあうとともに、今後の交流について話が弾むなど、ますます活発な交流が期待されます。

また、8月19日から21日にかけては、羅州市の小・中学生からなる野球チームが来倉し、20日に倉吉市営野球場で、中部地区の中学生との交流試合をおこないます。

子どもたちの熱戦を応援してください。



第18回部落解放研究倉吉市女性集会

～部落の完全解放と人権の確立を全市民の手で～

部落差別をはじめとしたあらゆる差別の現実に深く学びながら、家庭、職場や地域にある身近な人権問題を自らの問題として向き合い、かかわり、ともに手をつなぎあって差別をなくし、「人権尊重のまち倉吉」を実現するためにこの集会を開催します。

と き：2005年9月4日（日）13：00～16：30

と ころ：倉吉未来中心 倉吉交流プラザ

参加対象者：全市民（男性の人も奮ってご参加ください。）



12:30 13:00 13:10 14:30 14:40 16:30

受付	倉吉未来中心 大ホール		移動	倉吉未来中心、倉吉交流プラザ 各会場	
	開会行事	全体会（80分） 第1～第5分科会の提案者の発表を行います。		分科会（110分）	各分科会場に分かれて討議を深めます。

分科会	テーマ	サブテーマ	会場
1	部落解放	自分に気づこう 「部落差別が続いているのはなぜ…」 倉吉市立上灘小学校教諭 下中恵子	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール（150人）
2	男女共同参画	気づきたい！私の身近なこと 三朝町立三朝中学校教諭 山根英二	倉吉交流プラザ 第1研修室（60人）
3	障害のある人の人権	「自閉症」ってなに？ ～わが子の不思議な世界～ (社)日本自閉症協会鳥取県支部中部地区 水本豊子	倉吉未来中心 セミナールーム1（56人）
4	在住外国人人権	あなたといっしょに笑いたい アベ山田・マリアルイサ	倉吉未来中心 セミナールーム7（42人）
5	子どもの人権	笑顔あふれる子育て・親育ち 母子生活支援施設 倉明園施設長 大塩孝江	倉吉未来中心 セミナールーム3（195人）

※手話通訳、要約筆記を行います。（分科会での利用も希望される人は事前にお知らせください。）

※託児（対象は1歳から就学前まで）を行います。利用される人は、8月26日（金）までに事務局へ申し込んでください。

※問い合わせ先：第18回部落解放研究倉吉市女性集会実行委員会事務局・人権政策課（☎22-4891 / ☎22-4901）

●工作教室を開催

7月30日（土）関金総合文化センターで「牛乳パックおもしろ工作ランド」を開催しました。夏休みの工作にと、小学生の参加が多く見られました。

家庭で不要になった牛乳パックを使い、鉛筆立てや、びっくり箱、サンバイザーを作りました。

はさみで切りにくい箇所があり、悪戦苦闘しながらではありましたが、オリジナルの作品が次々とできあがりしました。早速できあがったサンバイザーをかぶったり、びっくり箱を開けてみたり楽しんでおられる様子が見られました。

また「牛乳パックからいろいろなものを作れることを知ることができてよかった」という声も聞こえてきました。

今後多くの人に参加していただけるような行事を開催していきたいと思っております。

※問い合わせ先：せきがね図書館

（☎ / ☎）45-2523



せきがね図書館
こーな

ハート・バリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768 / FAX 22-4901

No.8

『平和・人権』を考える

1945年8月6日に広島、8月9日に長崎に原爆が投下され、数知れない多くの尊い人命が犠牲となつてから60年が経過しました。

「戦争こそ最大の人権侵害」とよく言われます。人の命を奪う「戦争」をなくし、すべての人々の人権が守られる「平和」とは何かを私たちは考え、学習していきましょう。

「平和教育」

倉吉市では、小・中学校の人権同和教育の年間指導計画の中に「平和教育」を位置づけ、全学年で取り組んでいます。本年も市内の全小学校の六年生は修学旅行で広島に行き、現地学習をしました。原爆資料館を訪問したり、被爆体験証言者の話を聞いたりして、「平和」ということについて貴重な学習体験をしました。

このときの感想文を紹介します。

「私にできること」

被爆者の人のそり返った爪やケロイド、ぼろぼろになった衣服を見て、自分になったことも見たこともないので、どうしてこんなに



原爆ドーム

なるのか、これがどれほどのものなのかということが初めはよく分かりませんでした。

鉄にまでガラスが刺さったりレングが曲がったりして、小さな爆弾でどうしてここまでなるのでしょうか。

疑問はどんどんふくらんでいきました。

展示物の中には、被爆者貞子さんが折った鶴があり、その中にとっても小さい鶴もあって、貞子さんの「すごく生きたい。」という気持ちが表れているようでした。千羽折り終えた後も葉の包み紙を使つて折り続けたそうです。私は悲しくなりました。そして、資料館に入って最初に聞いた被爆体験証言者のTさんのお話を思い出

「しない、させない、許さない」
このように子どもたちは平和を願っています。
9月は「身元調査お断り運動強調月間」
県では、1997年より毎年9月を「身元調査お断り運動強調月間」として運動を展開しています。
今年4月、県内で、行政書士が戸籍謄本などを不正習得するという事件が発生しました。県内でも、戸籍謄本が交付されていたことが明らかとなり、県は、人権侵害事件として調査を実施することを要請しました。今回の事件の背景として、結婚・就職などの際に身元調査を容認する土壌が根強く残っていることを示しています。

「平和を願って」

明倫小学校六年一組 安藤明日生
私もTさんのように自分にできることは何だろうか、考え実行している人間になりたいです。いいことはいい、悪いことは悪いと誰に対してもいえることだと思います。

「被爆アオギリ二世」も成長



市役所敷地内の「被爆アオギリ二世」

倉吉市役所内に植えた「被爆アオギリ二世」の木は今年で3歳になりました。また、市内代表保育園・小学校が植えたアオギリの木は大きく育っているのでしょうか。

願って学習しています。戦争の記憶が風化しつつある一方で、中東の紛争、多発するテロ事件などのニュースが毎日のように流れ、私たちの「人のいのち」に対する感覚はマヒしつつあるかも知れません。
戦後60年、私たちが学んできた「人権と平和」について今一度考えてみましょう。

関金地区を紹介するシリーズ

せきなび

④ 湯楽里

簡易宿泊施設「湯楽里（ゆらり）」は、平成13年5月、関金温泉街が一望できる高台にオープンしました。

安価な素泊まりタイプで、自炊ができる設備が整っているのが、地元で新鮮な食材を使って長期滞在することもできます。また、大浴場では関金温泉のお湯を楽しむことができ、湯治や観光での宿泊のほか、帰省客の宿泊先などでも気軽に利用されています。

部屋は、4人から6人部屋の5タイプあり、そのほか、団体の食事や会合にも使える20畳の共同調理室などもあります。

【施設概要】

◆全室、エアコン、テレビ、冷蔵庫

完備（無料）
◆食器・調理用具、クッキングヒーター、鍋、炊飯器、電気ポットは備え付け
◆共同調理室、浴場、談話室、洗濯室
◆お風呂は天然ラジウム温泉
◆宿泊客には湯命館（日帰り温泉施設）の半額券もあります
◆チェックイン 午後3時
◆チェックアウト 午前10時
◆無料駐車場（20台）
◆湯楽里（ゆらり）
関金町関金宿1396-2 / ☎45-6400 / FAX 45-6401 / ホームページ <http://www.sekigane-yurari.com/>



夏まつりをきれいに終わる 清掃ボランティア

8月8日（月）午前7時30分から倉吉大橋下河川敷（倉吉打吹まつり会場あと）で、倉吉地区少年健全育成指導員等連絡会24人、高校生ボランティア（倉吉北高、倉吉東高、倉吉総合産業高校）32人、倉吉警察6人が、夏まつりのあとのごみひろいなどの清掃ボランティアを行いました。

倉吉地区少年健全育成指導員等連絡会が中心となり平成8年から実施しているもので、平成16年からは、高校生にも参加を呼びかけて行っています。

またこの活動は、毎年7、8月に警察が実施している「少年非行防止キャンペーン事業『地域ふれあい活動』」の一環として行われています。



▲夏まつりの清掃ボランティア



姉妹都市

ナジユ フォション 羅州・華川便り⑤

国際交流員 韓召眞

水の国華川、チョッペ（쪼배）筏祭

暑い天気とセミの鳴き声は相変わらずですが、8月7日の「立秋」をさかいに、暦上では秋が始まりました。

この夏、皆さんはどんな思い出を作られましたか。今回は、華川郡で開かれた祭りを紹介してみたいと思います。

「姉妹都市 羅州・華川便り①」でも紹介しましたように、華川郡には1年中さまざまな祭りが開かれます。その中で最も規模の大きい祭りの一つが、華川郡の山・川・湖など豊かな自然を利用した、「水の国華川、チョッペ祭」です。

7月23日から8月7日まで開かれた「第3回水の国華川、チョッペ祭」には、16日間全国から約21万人が訪れ、「水中宝探し」「溪流魚手づか

み」など40種類の体験イベントに参加しますが、チョッペ祭のみどころは何といても「チョッペコンテスト」です。

「チョッペコンテスト」の、チョッペというのは、モーターなどの動力が付いてない船の総称で、各チームが自分の個性を生かして作ったチョッペに乗り、その姿を披露し合います。関金の「かごかきレース」とも少し似ていますね。

1位の賞金三百万ウォン（約30万円）をはじめ、合わせて8チームに千五百万ウォンという賞金が掛かっているせいか、年々参加者が増えているようです。

関金「かごかきレース」で、皆さんのかご作りの実力を見ますと、チョッペコンテストに参加しても負けないような気がしますが、来年にぜひ挑戦してみるのはいかがでしょうか。

日韓友好関係への貢献と思い出作りという一石二鳥。さらに受賞までしますと一石三鳥の成果が得られますよ！



チョッペコンテストで2位に輝いた作品